

「みえの一番星」

県庁に出荷報告

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】JA伊勢の役職員は9月中旬、県庁を訪れ、超極早生温州ミカン「みえの一番星」の出荷報告



出荷が始まった「みえの一番星」を手に持つ野呂副知事と小林常務

を、野呂幸利副知事に行った。この日は小林太造常務と坂口正明常務らが参加。「みえの一番星」の生産などで意見を交わした。

「みえの一番星」を試食した野呂副知事は「程よい酸味がありおいしい。産地では、新規就農が多いと聞く。ミカンが地域活性化の起爆剤となるとよい」と話した。

「みえの一番星」は、超極早生温州ミカン「味一号（品種）みえ紀南1号」の中でも糖度10以上、酸1・1%以下の基準をクリアしたもので、「三重ブランド」に認定されている。同JAは、JA全農みや県と連携してPRに取り組む。